

『建築と日常』全国の主な取扱店

*在庫状況は各店舗にお問い合わせください

*新規取扱いをお考えの書店はツバメ出版流通 (tsubamebook.com) までご連絡ください

2019年12月現在

建築と日常

- 北海道 MARUZEN&ジュンク堂書店 札幌店/北海道札幌市中央区南1条西1-8-2 高桑ビル B2~4F
東北 KANEIRI Museum Shop 6/宮城県仙台市青葉区春日町2-1 せんだいメディアテーク 1F
曲線/宮城県仙台市青葉区八幡2-3-30
関東 丸善 丸の内本店/東京都千代田区丸の内1-6-4 丸の内オアゾ 1~4F
東京堂書店 神田神保町店/東京都千代田区神田神保町1-17
南洋堂書店/東京都千代田区神田神保町1-21
東京国立近代美術館ミュージアムショップ/東京都千代田区北の丸公園3-1
八重洲ブックセンター 本店/東京都中央区八重洲2-5-1
文喫/東京都港区六本木6-1-20 六本木電気ビル 1F
Bookshop TOTO/東京都港区南青山1-24-3 TOTO乃木坂ビル 2F
smokebooks 清澄白河店/東京都江東区三好3-9-6
NADiff contemporary/東京都江東区三好4-1-1 東京都現代美術館 1F
青山ブックセンター 本店/東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモス青山ガーデンフロア B2F
NADiff a/p/a/r/t/東京都渋谷区恵比寿1-18-4 1F
代官山 蔦屋書店/東京都渋谷区猿楽町17-5
HMV&BOOKS SHIBUYA/東京都渋谷区神南1-21-3 渋谷modi 5~7F
MARUZEN&ジュンク堂書店 渋谷店/東京都渋谷区道玄坂2-24-1 東急百貨店本店 7F
NADiff modern/東京都渋谷区道玄坂2-24-1 Bunkamura B1F
GA gallery Bookshop/東京都渋谷区千駄ヶ谷3-12-14
NADiff BAITEN/東京都目黒区三田1-13-3 東京都写真美術館 2F
B&B/東京都世田谷区北沢2-5-2 ビッグペンビル B1F
二子玉川 蔦屋家電/東京都世田谷区玉川1-14-1 二子玉川ライズ S.C.テラスマーケット
gallery 5/東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー 3F
紀伊國屋書店 新宿本店/東京都新宿区新宿3-17-7
ブックファースト 新宿店/東京都新宿区西新宿1-7-3 モード学園コクーンタワー B1~B2F
ジュンク堂書店 池袋本店/東京都豊島区南池袋2-15-5
museum shop T/東京都国立市東1-15-18 白野ビル 3F
BOOKSHOP Kasper/神奈川県三浦郡葉山町一色1462-5
smokebooks みのり台店/千葉県松戸市稔台1-21-1 あかぎハイツ 113号室
Contrepoint/茨城県水戸市五軒町1-6-8 水戸芸術館 1F
ジュンク堂書店 ロフト名古屋店/愛知県名古屋市中区栄3-18-1 ナディアパーク B1F
ちくさ正文館書店 本店/愛知県名古屋市中区千種区内山3-28-1
豊田市美術館ミュージアムショップ/愛知県豊田市小坂本町8-5-1
ジュンク堂書店 大坂本店/大阪府大阪市北区堂島1-6-20 堂島アバンザ 2~3F
MARUZEN&ジュンク堂書店 梅田店/大阪府大阪市北区茶屋町7-20 チャスカ茶屋町 B1~7F
Calo Bookshop & Cafe/大阪府大阪市西区江戸堀1-8-24 若狭ビル 5F
柳々堂/大阪府大阪市西区京町堀1-12-3
大龍堂書店/京都府京都市中京区新樺木町通竹屋町上ル西草堂町175
MEDIA SHOP/京都府京都市中京区河原町通三条下ル大黒町44 VOXビル 1F
丸善 京都本店/京都府京都市中京区河原町通三条下ル山崎町251 京都BAL B1~B2F
ふたば書房 御池ゼスト店/京都府京都市中京区下本能寺前町492-1 ゼスト御池地下街内
恵文社一乗寺店/京都府京都市左京区一乗寺弘敷町10
京都岡崎 蔦屋書店/京都府京都市左京区岡崎最勝寺町13 ロームシアター京都 パークプラザ 1F
ホホホ座 浄土寺本店/京都府京都市左京区浄土寺馬場町71 ハイネストビル 1~2F
ジュンク堂書店 三宮店/兵庫県神戸市中央区三宮町1-6-18
READAN DEAT/広島県広島市中区本川町2-6-10 和田ビル 203
ジュンク堂書店 福岡店/福岡県福岡市中央区天神1-10-13 メディアモール天神 B1~4F
ジュンク堂書店 那覇店/沖縄県那覇市牧志1-19-29 D-NAHA B1~3F
- 中国
九州
沖縄

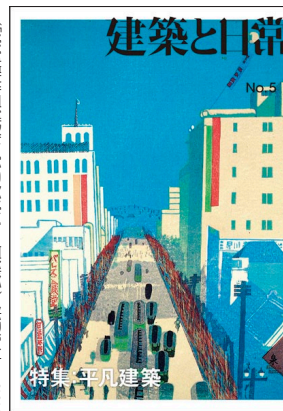
No.0 建築にしかできないこと (表紙写真: アンダース・エドストローム)



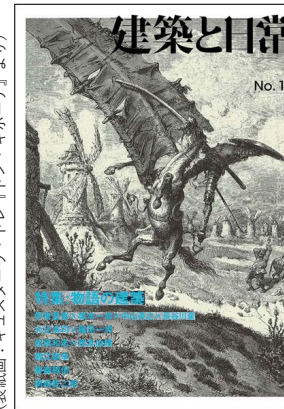
別冊 窓の観察 (表紙写真: qp)



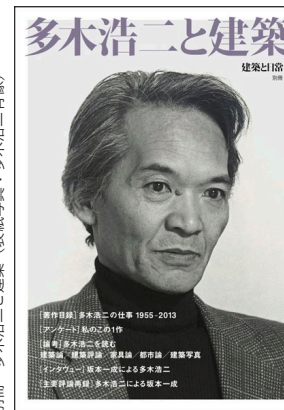
No.5 平凡建築 (表紙画: 小泉癸巳男「淀橋区新宿街景」)



No.1 物語の建築 (表紙画: ギュスターヴ・ドレ『ドン・キホーテ』より)



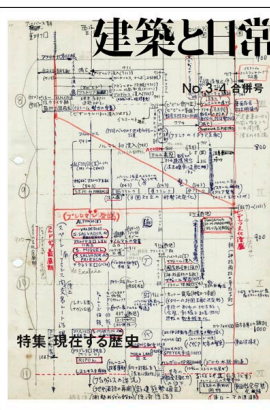
別冊 多木浩二と建築 (表紙写真: 多木浩二肖像)



No.2 建築の持ち主 (表紙画: qp)



No.3-4 現在する歴史 (表紙図版: 大江宏による歴史年表)



個人雑誌『建築と日常』

2009年、編集者・長島明夫によって創刊。文学や写真、美術、映画などさまざまな表現ジャンルを横断しながら、日常の地平で建築を捉える。2019年までに、別冊・号外を含めて10タイトルを刊行。

[ロゴ&表紙デザイン]
大橋修 (thumb M)



HP kentikutonitijou.web.fc2.com
web shop richeamateurl.theshop.jp
blog richeamateurl.hatenablog.jp
twitter twitter.com/richeamateurl
E-mail richeamateurl@gmail.com

『建築と日常』総目次

No.0 建築にしかできないこと【発売】

勤めていた出版社を辞めて始めた個人雑誌。「建築にしかできないこと」を2つのロングインタビューと17名へのアンケートで問い、雑誌の対象を見定める。

- A5判／白黒／80頁／857円＋税／2009-9-8刊

[インタビュー] 香山壽夫、坂本一成 **【HP公開】**

[アンケート] 伊東豊雄、内田青蔵、奥山信一、鈴木恂、鈴木了二、田路貴浩、富永譲、中山英之、西川祐子、西澤英和、長谷川豪、日埜直彦、藤森照信、松隈洋、水上優、宮城俊作、鷺田清一

No.1 物語の建築【発売】

他者の経験を経験する物語という場。写真、小説、映画などの分野と重ね合わせながら、個人と世界をつなぐ物語の建築のあり方を捉える。

- A5判／白黒／128頁／1143円＋税／2010-5-17刊

[座談] 個人と世界をつなぐ建築 | 伊東豊雄×坂本一成×中山英之×長谷川豪

[特集] ある写真家とその住居の物語 | 大辻清司×篠原一男

[写真と文] 住まいができたら (1976) | 大辻清司

[建築] 上原通りの住宅 (1976) | 篠原一男 (文＝塩崎太伸) **【HP公開】**

[インタビュー] 大辻清司との日常 | 大辻誠子 **【HP公開】**

[対談] リアリティのありか | 保坂和志×塚本由晴

【HP公開】

[エッセイ] 個人と世界をつなぐ家——正岡子規邸／楳図かずお邸 | 長島明夫

[エッセイ] 砂の上に、海の上に——物語と建築 | 堀江敏幸

[レビュー] 建築と日常と映画 30作 | 結城秀勇＋長島明夫

[インタビュー] 物語られる建築 | 藤森照信

[インタビュー] 建築が思想をもつ条件 | 岡崎乾二郎

[建築] Blockhouse Sunagawa (2010) | 岡崎乾二郎＋エンガワ

No.2 建築の持ち主

東日本大震災を経て、あらためて建築の所有を考える。建築は「私」のものか、社会のものか、あるいは建築家のものなのか。

- A5判／白黒／112頁／1143円＋税／2011-12-1刊

[アンケート] 建築は誰のものか | 石上純也、井上章一、大月敏雄、岡啓輔、小野田泰明、鯨井勇、篠原雅武、たかぎみ江、長田直之、中村良夫、馬場正尊、平山洋介、藤森照信

[年表] 近現代日本の建築と所有 | 長島明夫

[創作] 保留の場所 | 利部志穂

[解説] 所有 (『政治学事典』弘文堂、2000) | 立岩真也

[インタビュー] 建築と所有 | 立岩真也

[写真] 人間の位置 | qp

[対談] 〈建てること〉の射程 | 坂本一成×塚本由晴

[多木浩二氏追悼企画] 『生きられた家』再読 | 長谷川豪・能作文徳・長島明夫

別冊 窓の観察

窓という共通テーマをめぐる創作集。異なる表現分野のトップランナー3人のコラボレーションで、窓のもつ文化的・社会的・空間的な意味が豊かに広がる。

- A5変型判／カラー&白黒／64頁／900円＋税／2012-9-8刊

[写真] 窓 32 | qp

[小説] 見えない | 柴崎友香

[建築] 窓のあっちとこっち | 中山英之

[裏表紙広告] 坂本商会 (写真：Y邸 | 中山英之)

* [イベント動画] 〈つくる〉と〈生きる〉の関係——空族 (富田克也＋相澤虎之助) ×中山英之 in 蟻鱒鳶ル

| 映像制作＝降矢聡＋久保田誠 **【youtu.be/7aRj-99Dmns】**

別冊 多木浩二と建築

知の巨人の知られざる一断面。多木浩二 (1928-2011) の建築分野での活動を振り返り、その仕事を歴史に開く。1000件を超える詳細な著作目録。盟友・坂本一成への20時間インタビュー。圧倒的な密度と情報量。

- A5判／白黒／240頁／1800円＋税／2013-4-30刊

[著作目録] 多木浩二の仕事 1955-2013 書籍編／網羅編 [アンケート] 私のこの1作 | 石堂威、八束はじめ、伊東豊雄、鈴木明、沖健次、長谷川逸子、上野俊哉、入江経一

[論考] 多木浩二を読む——建築論 | 中井邦夫、建築評論 | 安森亮雄、家具論 | 安森亮雄、都市論 | 青井哲人、建築写真 | 阿野太一

[インタビュー] 坂本一成による多木浩二——創作と批評の共振 | 坂本一成

[主要評論再録] 多木浩二による坂本一成 (7編) | 多木浩二

[裏表紙写真] 多木浩二 (代田の町家 | 坂本一成)

* [イベント動画] 建築批評の内と外——八束はじめ×坂本一成 in 代田の町家 | 映像制作＝降矢聡＋久保田誠 **【youtu.be/FQKC9b91tV4】**

号外 日本の建築批評がどう語られてきたか

なぜ今「建築批評がない」のか。建築批評論年表 (20世紀日本編) で100年間の建築批評をめぐる言説をたどり、現在を知るための足がかりとする。

- A2判両面／カラー／500円＋税／2013-11-4刊

[年表] 建築批評論年表 (20世紀日本編) | 長島明夫

[批評論] 建築物の批評に就て (1928) | 長野宇平治

No.3-4 現在する歴史

「今、ここ」が断片化・絶対化する社会で、建築を介して歴史が現在することの意味を顧みる。当代の第一人者たちに加えて、時空を超え、大江宏 (1913-89)、吉田健一 (1912-77) らを生き生きと誌面に召喚。

- A5判／白黒／208頁／1800円＋税／2015-3-31刊

[インタビュー] 歴史としての建築 | 香山壽夫

[アンケート] あなたがとりわけ歴史を感じる建築とその理由を教えてください | 楨文彦、藤森照信、井上章一、畠山直哉、後藤治、島村菜津、鈴木理策、小川次郎、古谷利裕、速水清孝、石上純也、桑木野幸司、

結城秀勇、斧澤未知子 [抜粋集] 建築家・大江宏の言葉 (付録：現在する大江建築 | 石井翔太 **【HP公開】**)

[インタビュー] 伝統とモダニズム——大江宏の言葉から | 富永譲

[小説] 化けもの屋敷 (1977) | 吉田健一

[建築] 4 episodes (2014) | atelier nishikata (小野弘人＋西尾玲子) | 写真＝山岸剛

[批評] 建築は演算によってのみ出現する (演算過程においてしか、建築は存在しない)。 | 岡崎乾二郎 [批評] 《代田の町家》の危機 (2013) | 長島明夫 **【HP公開】**

[インタビュー] 建築をめぐるいくつかの時間 | 坂本一成 [エッセー] 歴史の現在 (4編) | 長島明夫 **【HP公開】**

号外 建築と日常の写真

雑誌創刊以来撮影された建築や風景の写真を26点掲

載し、各写真の解説となる文章 (約6,000字) を付す。写真を通じて建築と日常の時空間を思考する。

- A4判／中綴じ／カラー／24頁／1200円＋税／2017-5-7刊

[写真&文章] 建築と日常の写真 | 長島明夫

No.5 平凡建築

SNS全盛、とにかく目立ったもの勝ちというこの世の中で、平凡であることの意味を見いだす。建築における個性とは？ オリジナリティとは？ 昭和戦前から最新建築まで。

- A5判／白黒／144頁／1500円＋税／2018-5-17刊

[インタビュー] 吉田鐵郎の平凡、官庁営繕の公共性 | 内田祥哉

[抜粋集] 吉田鐵郎の言葉

[エッセイ] 平凡な建築について | 福田晴虔

[アンケート] あなたにとって飽きない建築とはどういうものですか？ | 連勇太朗、林剛平、彌田徹、関口奈央子、能作文徳、増田信吾、藤本貴子、川添善行、小岩正樹、笹倉洋平、大野博史、大松俊紀、島田陽、

豊田啓介、高田知永、長坂常、福島加津也、藤原学、南泰裕、坂本政十賜、磯達雄、田所辰之助、比嘉武彦、千葉学、藤森照信、室伏次郎、吉田研介、香山壽夫

[写真] 佐賀県歯科医師会館 (2017) | 坂本一成 | 写真＝長島明夫

[エッセイ] 個人作家の使命 (1931) | 柳宗悦

[エッセイ] 非作家性の時代に (1998) | みかんぐみ

[対談] 最近の非作家性をめぐる状況 | 曾我部昌史×中井邦夫

[建築] fca (2017) | 堀部安嗣

[インタビュー] 建築の役割を思い出す | 堀部安嗣

[建築] 河井寛次郎記念館 (旧河井寛次郎自邸、1937) | 河井寛次郎

[インタビュー] 河井邸の尽きせぬ魅力 | 坂本一成

[エッセイ] 垣はいつ作られるか (1962) | 河井寛次郎

号外 建築と日常の文章

本誌編集発行者によるテキスト集成。雑誌制作の状況、親愛なる作家たちのこと、当世風物批判、日常の経験の言語化。約10年間、およそ20万字の孤独な思考。 - A4判／中綴じ／白黒／56頁／1200円＋税／2018-11-25刊

[文章&写真] 建築と日常の文章 | 長島明夫